

## 小学校体育大会(小体会)に向けて

10月12日(水)<予備日14日(金)>、市内の小学6年生が参加する標記の大会が開催されます。南陽小の6年生は、全員が陸上競技(走・跳・球入れ・長縄)にエントリーしています。

この大会は、運動に親しむことや、体力の向上、さらに練習から本番までの一連の取組をとおして人間的な成長を培うというねらいがあります。他校の子どもたちとの親善を深めることもその一つですが、現状では難しいところです。昨年度は、新型コロナウイルス感染拡大のためにやむなく中止となり、今の中1の子どもたちは残念な思いをしたことでしょう。今年度は、感染のピークを越え、また一昨年度に実施した感染対策を改善した上で、開催できそうです。すべての会場が無観客となりますが、できないことを嘆くより、できることを喜びたいと思います。

修学旅行後から放課後にコツコツと練習してきた6年生のハレの場として、それぞれが光り、輝く姿を見せてくれることと期待しています。当日の様子は、このたよりにて後日お伝えします。

<HPには他の画像を掲載しています:[小体会に向けて|長崎市立南陽小学校 \(nagasaki-city.ed.jp\)](#)>  
なお、出場を励ます会を7日(金)、5年生が中心となって企画、開催し、エールを送ります。

## 外部講師を招いての学び

先月15日は3年生が「醤油について知る」、昨日は5年生が「深堀地区の歴史を知る」として、それぞれ出前授業をうけました。どちらも、専門家の方を講師としてお招きして実施しました。専門家のお話は、一般的に知られている情報以外の興味深い内容なので、子どもたちからは驚きや知識を得た喜びの声がたくさん出されます。資料もたくさん準備されているので、五感を働かせながらの学習にもなります。

併せて、学校で講師を招く場合は、その時間そのテーマについての学習だけではなく、学年の教科の学習内容と関連させています。「醤油について」は、国語科「すがたを変える大豆」とつながっていて、大豆が食材としてたいへん貴重であり、日本人が大豆を大切に活用してきたことを教材文で読み取っていた子どもたちに、その事例を実体験する時間となりました。

「深堀地区の歴史を知る」では、今後地域の歴史を調べていく5年生にとって、興味関心を高める導入の時間でした。



今後も、「法教育」として6年生が弁護士の方との学習し、3年生の学習には「体育学習サポーター」に入っただく予定です。